

各関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除所長
(公印省略)

発生予察情報について
平成16年度病害虫発生予報第4号を発表したので送付します。

平成16年度病害虫発生予報第4号(7月予報)

今月のトピック

白絹病

Sclerotium rolfsii Saccardo



地際部に生じた菌核
(にがうり)



根茎部に広がった菌糸
(タイモ)



地際部に生じた菌核
(タイモ)

生態と対策

本病は多犯性で多種類の野菜を侵し、17～38 の温度で生育する。発病した圃場では、被害植物上や地面等に生じた菌核が土に混じり、これが越冬して伝染源になる。発病部には白色絹糸状の菌糸がまとわりつき植物体だけではなく周辺の土表面にもマット状に広がり、植物体に近いところから多数の菌核が形成される。

前作で発生していた場合には土壌消毒を必ず行う。未熟の堆肥等は病原菌の栄養になるので完熟堆肥を使用する。土壌のpHを中性近くに調整する。